



2015

Business Report

平成26年4月1日 — 平成27年3月31日

第62期 報告書

GEO▲▲ATEC

Financial Highlights

財務ハイライト

売上高 **11,164** 百万円

当社グループ製品の主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ市場は、スマートフォン、タブレット端末が市場を牽引する状況で推移いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は111億64百万円(前期比7.9%増)となりました。

なお、売上高増加の主な要因は、基板材料を当社で調達する製品及び外注加工を必要とする製品の販売額が増加したためであり、当該要因を除いた当社グループの実質的な加工賃収入は前期比2.4%の増加にとどまっております。



当期純利益 **922** 百万円

生産効率向上策や原価低減活動に努めてまいりましたが、下半期以降、液晶パネル用帯電防止膜の受注数量が伸び悩み、新規装置の償却負担増を吸収しきれなかったことなどにより、当期純利益は9億22百万円(前期比5.8%減)となりました。

なお、平成26年11月23日に前代表取締役会長松崎隆造氏が逝去いたしましたことによる受取保険金2億10百万円を特別利益に計上しております。



営業利益 **693** 百万円

積極的な設備投資による受注数量の増加に努めましたが、中国子会社が好調だった前期と比較して大幅な減益となったことや、下半期以降、液晶パネル用帯電防止膜の受注数量が伸び悩んだことにより、営業利益は6億93百万円(前期比30.3%減)となりました。



配当金 **30** 円

株主各位への利益還元を充実させていくことを経営の基本方針としております。

この考えのもと、業績を考慮しつつ安定的な配当を実施してまいりますとともに、将来の事業展開と、経営環境の変化に備えた経営基盤の強化に必要な内部留保を確保してまいります。



To Our Shareholders

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループのビジネスレポートをお届けいたしますが、第62期における報告に先立ちまして、一言ごあいさつを申し上げます。

昭和50年の入社以来、長きにわたりジオマテックの経営に尽力してまいりました代表取締役会長松崎隆造氏が平成26年11月23日に逝去いたしました。

生前中、株主の皆様より賜りましたご厚誼に深謝し、ここに謹んでご報告申し上げます。

さて、当連結会計年度におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動で個人消費は伸び悩んだものの、円安基調を背景に輸出企業の収益改善がみられるなど、全般としては緩やかな回復基調で推移いたしました。

今後のわが国経済は、新興国経済の減速や地政学的リスクによる経済への影響が懸念されるものの、米国を中心とする先進国の景気が堅調に推移する見通しから、引き続き緩やかな回復基調で推移していくものと予想されております。

このような環境のもと、当社グループ製品の主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ市場は、スマートフォン、タブレット端末が成熟化傾向にあるものの引き続き市場を牽引していくと見込んでおりますが、次期の前半については当期の後半に発生した生産調整が継続してい



代表取締役社長 松崎建太郎

ることから厳しい状況で推移するものと予想しております。

このような状況のもと、当社グループは、当社の主力製品である液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜について積極的な販売活動や、更なる品質の安定、生産性の向上に取り組み受注を確保するとともに、その他の薄膜製品についても拡販に努めてまいります。

また、現在関与している市場・製品に加え、成膜技術を用いた新たな市場への展開、新たな製品開発に向けた施策の実行を推し進め、企業価値の向上に繋げていきたいと考えております。

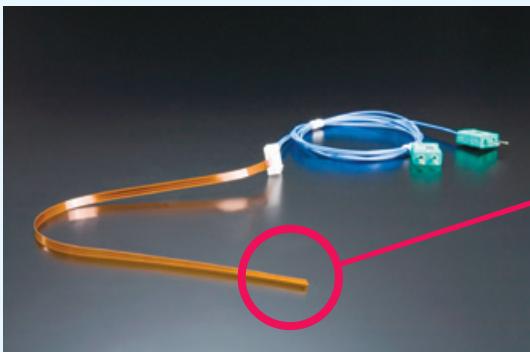
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

はくまくねつでんつい

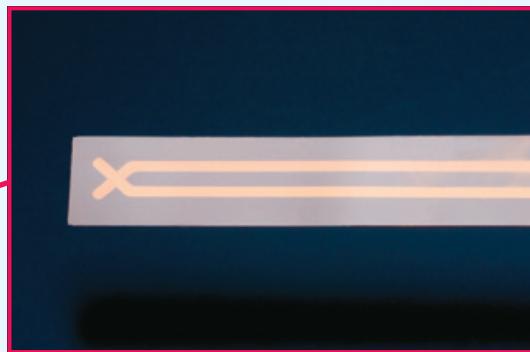
薄膜熱電対のご紹介

日々進化していく科学により、さまざまな新技術が開発されていくなか、薄膜技術もまた新分野への応用が期待されております。

今回は長年培った薄膜・加工技術を活かすことにより開発に成功いたしました
新型温度センサー「薄膜熱電対」について、そのしくみや期待される応用分野についてご紹介いたします。



■薄膜熱電対



■測定部拡大写真

熱電対のしくみ

異なる金属線A、金属線Bを接合した測定部1と計測器との間に、温度差が生じると電圧が発生します。
発生した電圧を測定し、温度に換算することにより温度センサーとして利用が可能となります。



※図中では分かりやすく金属種別に色を変えて表現しております。

薄膜熱電対の特長

当社の薄膜形成技術とエッチング技術を組み合わせることにより多くの特長を併せもつ薄膜熱電対が開発できました。

極めて薄い



せまい隙間を利用した温度測定が可能

優れた応答性



測定対象の温度変化に敏感に反応する測定が可能

可変性



曲げることが可能なため、幅広い製品への搭載が可能

高い設計自由度



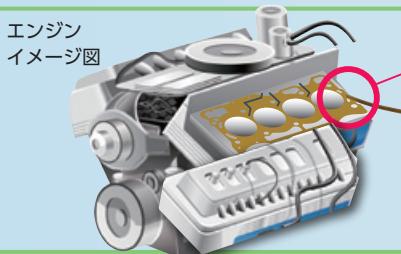
多様なデザイン

応用分野

自動車の温度測定

今まで温度測定が不可能だった自動車エンジンやモーター使用箇所においても、隙間を利用した温度測定が可能となりました。

■自動車エンジン温度測定イメージ図



エンジン
イメージ図

測定箇所

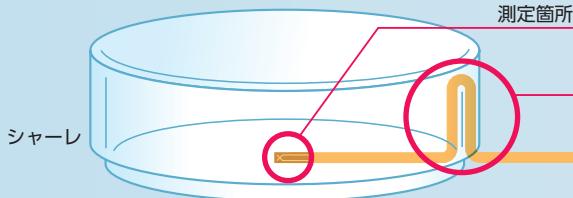
計測器

120°C

バイオ研究用途

密閉状態でも温度測定が可能となり、従来とは異なる研究方法や取り組みが可能となりました。

■温度測定イメージ図



測定箇所

曲がる

計測器

30°C

History of Products

GEOMATEC 製品の歩み

当社は、1953年の設立以来、一貫して「社会への光の応用」をテーマに、フラットパネルディスプレイ用基板、光学機器用部品などの中核要素を担う真空成膜技術に特化した受託加工メーカーとして企業活動に努めてまいりました。

- カメラ：アルミ表面鏡
- 玩具：アルミ表面鏡



- カメラ：ARコート・光学多層膜
- ルーペ：ARコート

- 二眼レフカメラ：アルミ表面鏡
- 一眼レフカメラ：アルミ表面鏡
- ラジオ：セラミックバリコン用銀電極膜
- マジックミラー：Tiハーフミラー
- 航空機：計器類カバーガラス用SnO₂電極膜
- 電子顕微鏡：内窓ガラス用SnO₂電極膜
- 信号機：カバーガラス用SnO₂電極膜(曇り止め用)
- 天体望遠鏡：アルミ表面鏡
- 潜水艦：潜望鏡カバーガラス用SnO₂電極膜

- 液晶腕時計：In₂O₃→ITO膜
- 複写機：アルミ表面鏡・アルミ高反射鏡



- 簡易印刷機：その他金属膜
- 装飾用照明：グラリエントフィルター
- 液晶電卓：In₂O₃→ITO膜
- 船舶：レーザー用ダイクロイックフィルター
- 時計用着色カバーガラス：TiO₂、Cr₂O₃等使用
- テレビ：コントラスト調整用ウェッジフィルター
- 液晶置時計：ITO膜

- リアプロジェクションTV：アルミ表面鏡
- 交換レンズ：銀表面鏡・アルミ高反射鏡
- ステッパー：アルミ表面鏡・アルミ高反射鏡
- オートレフ：コールドミラー
- ラップトップ型ワープロ：ITO膜



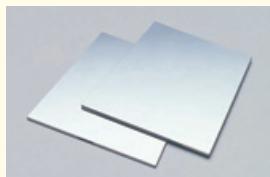
- ビデオカメラ：IRカットフィルター
- 複写機：原稿台カバーガラス用ITO膜
- 光パワーメーター：ステップフィルター
- 扁平ブラウン管TV：蛍光体へのSiO₂コート

1950年代

- サングラス：Crハーフミラー
- 自動車：バックミラー用Cr反射鏡
- 航空機：翼端灯用銀反射鏡
- OHP：アルミ表面鏡
- 双眼鏡：ARコート
- 自動車：ルームミラー用Cr反射鏡

1960年代

- 投影机：アルミ表面鏡
- レントゲン装置：アルミ表面鏡
- ジアゾ式複写機：アルミ表面鏡



- 一眼レフカメラ：銀表面鏡

1970年代

- 家電製品：ITO膜
- 事務機器：ITO膜
- 太陽電池：ITO膜
- リアプロジェクションTV：青ダイクロイックミラー
- 歯科医用照明：コールドミラー・フィルター
- ビデオカメラ：ローパスフィルター
- LDプレーヤー：ARコートレーザーミラー



1980年代

- CDプレーヤー：ARコート・レーザーミラー
- 液晶プロジェクター：ダイクロイックミラー・フィルターARコート



- ラップトップ型パソコン：ITO膜
- レーザープリンター：アルミ高反射鏡
- 複写機：IRカットフィルター
- 液晶テレビ：ITO膜

- ラボ用プリンター：ダイクロイックミラー・フィルター・ARコート
- PDA：ITO膜
- 液晶モニター付きビデオカメラ：ITO膜
- レーザーマーカー：ARコート

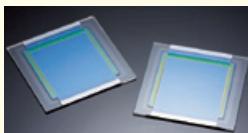


- ATM/CD：タッチパネル用ITO膜

- 液晶テレビ・パソコン：ITO膜
- カラー携帯電話：ITO膜・金属膜



- 全固体型薄膜リチウムイオン二次電池



- 光通信：ARコート・フィルター
- DMDプロジェクター：ダイクロイックミラー・ARコート・セラミックコート



- 液晶リアプロジェクションTV：ダイクロイックミラー・フィルター・ARコート

- モバイル機器：有機EL用ITO膜
- ポータブルオーディオ：有機EL用ITO膜
- 静電容量方式タッチパネル用ITO膜・金属膜
- LCD用帯電防止膜
- 有機太陽電池用TCO膜
- クリアヒート®：ITO膜(東邦シートフレーム株式会社共同開発品)

- 静電容量方式タッチパネル：フィルム用ITO膜・金属膜
- ロール to ロール成膜
- 照明：有機EL用ITO膜・金属膜
- マスクブランクス用遮光膜
- 薄膜熱電対



1990年代

2000年代

2010年~

GEOMATECの技術はさまざまな分野で活躍しております

スマートフォン、タブレット端末、携帯電話、デジタルカメラを代表に、毎日の暮らしのごく身近なところに当社の成膜技術が活かされています。それは、真空成膜技術に特化した受託加工メーカーならではのものです。

- 携帯電話
- スマートフォン
- タブレット端末



- 一眼レフカメラ
- プロジェクター
- デジタルカメラ



- カーナビ
- 信号機
- ETC
- 電車(窓)
- 魚群探知機



- 建材用途
- 太陽電池



展示会への出展

薄膜技術は電子機器分野を中心とした数多くの分野に採用され、日々新製品が市場に送り出されております。

当社では現在関与している分野に加え、新たに医療機器業界、食品機械業界などの展示会へ積極的に出展をおこなっており、第62期の出展回数は国内外あわせて12回となりました。

いずれの展示会においても、ご来場の皆様に当社技術をアピールすることができ、大きな反響をいただきました。

今後も継続して新市場への展開を目指し、幅広い分野への出展を予定しております。

期間	展示会名
2014/ 6/10 - 13	FOOMA JAPAN 2014国際食品工業展
2014/ 6/12 - 14	メディカルショー ジャパン&ビジネスエキスポ2014
2014/ 6/25 - 27	第5回 医療機器 開発・製造展(MEDIX)
2014/ 7/ 3	第1回 みやぎ医療機器創生産学官金連携フェア
2014/ 8/22 - 24	胎内星まつり2014
2014/10/11 - 13	星の村スターライトフェスティバル2014
2014/10/15 - 17	インターオプト2014(東北パビリオン)
2014/11/21	東北ものづくり企業医療機器開発・技術展示会2014
2015/ 1/28 - 30	国際ナノテクノロジー総合展・技術会議(NEDOブース)
2015/ 2/10 - 12	SPIE PHOTONICS WEST [サンフランシスコ/米国]
2015/ 2/24 - 26	第5回 関西医療機器 開発・製造展(MEDIX)
2015/ 3/17 - 19	LASER World of PHOTONICS CHINA 2015[上海/中国]



Summary of Operations

営業概況

当社グループ製品の主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ市場は、スマートフォン、タブレット端末が市場を牽引する状況で推移いたしました。

この結果、売上高は111億64百万円(前期比7.9%増)となりました。

なお、売上高増加の主な要因は、基板材料を当社で調達する製品及び外注加工を必要とする製品の販売額が増加したためであり、当該要因を除いた当社グループの実質的な加工賃収入は前期比2.4%の増加にとどまっております。

損益につきましては、中国子会社が好調だった前期と比較して大幅な減益となったことや、期後半にかけては、液晶パネル用帯電防止膜の受注数量が伸び悩み、新規装置の償却負担増を吸収しきれなかったことなどから、営業利益は6億93百万円(前期比30.3%減)、経常利益は7億45百万円(前期比26.8%減)、当期純利益は9億22百万円(前期比5.8%減)となりました。

● フラットパネルディスプレイ用基板

フラットパネルディスプレイ用基板につきましては、中小型フラットパネルディスプレイ市場の環境変化が当社の受注環境にも大きな影響を及ぼしました。液晶パネル用帯電防止膜は、販売価格の低下や一部顧客からの受注数量の減少により当初見込みを下回りました。抵抗式タッチパネル用透明導電膜は、カーナビゲーション向けに安定した受注が継続したこと

から、概ね堅調に推移いたしました。静電容量タッチパネル用透明導電膜は、ポータブルゲーム機向けやスマートフォン向けに受注は増加いたしました。

この結果、売上高は83億16百万円(前期比9.1%増)となりました。なお、基板材料費や外注加工費要因を除いた当社グループの実質的な加工賃収入は前期比3.7%の増加となっております。

● 光学機器用部品

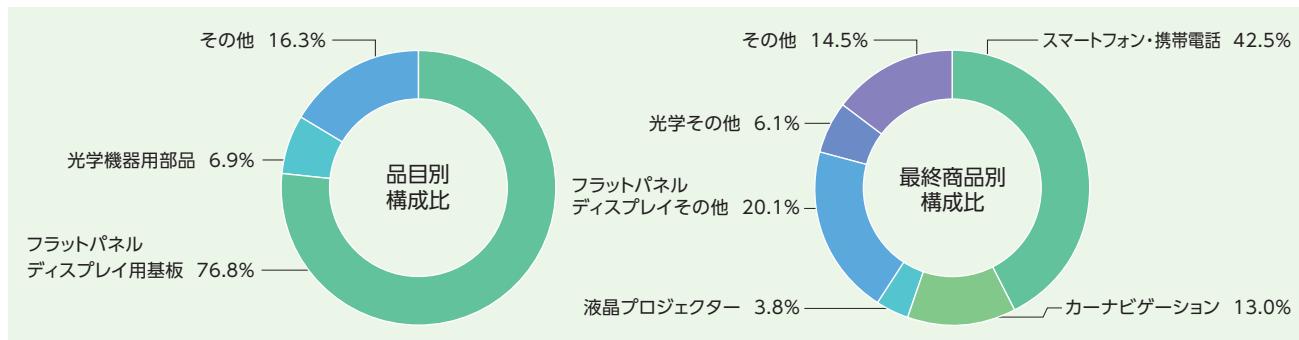
光学機器用部品につきましては、プロジェクター向け光学部品の需要が縮小しましたが、デジタルカメラ向け反射防止膜や照明機器向け光学製品が増加したことから堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は12億9百万円(前期比20.1%増)となりました。

● その他

その他につきましては、マスクブランクス向け薄膜やその他薄膜製品の販売活動に取り組みましたが、スマートフォン向け加飾膜の需要が縮小したことから低調な推移となりました。

この結果、売上高は16億38百万円(前期比4.6%減)となりました。

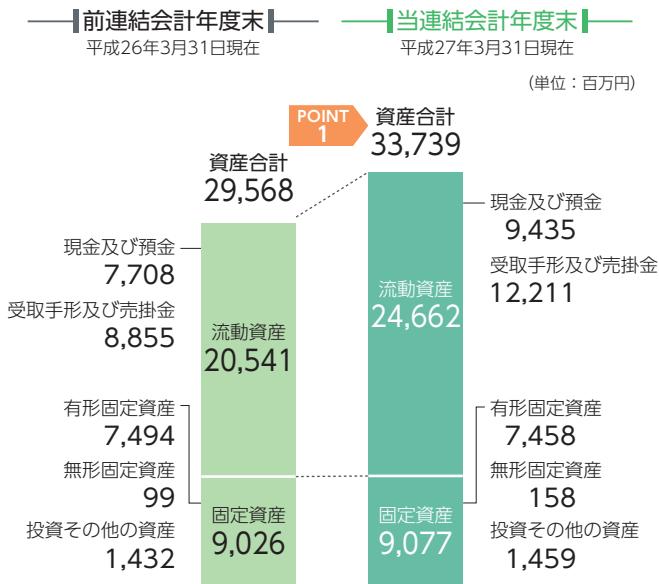


Financial Data

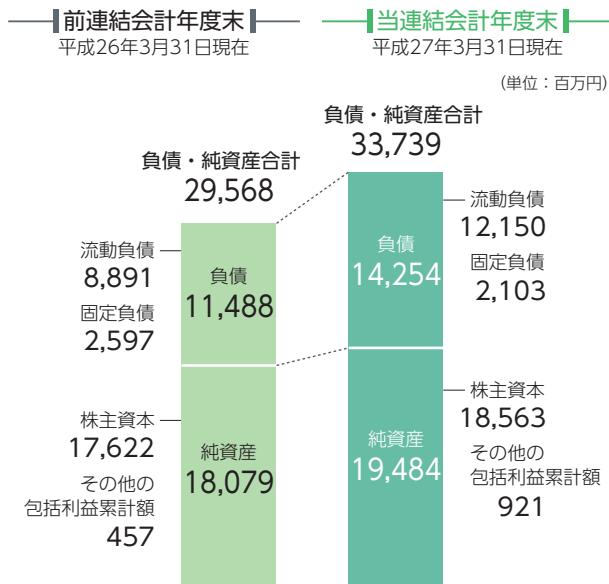
財務データ

連結貸借対照表

資産の部



負債の部



POINT 1

資産合計 **33,739**百万円

流動資産は、現金及び預金が17億27百万円、受取手形及び売掛金が33億56百万円増加し、有価証券が9億99百万円減少したことなどにより、前期より41億21百万円増加の246億62百万円となりました。固定資産は、投資有価証券が2億97百万円増加したことなどにより、前期より50百万円増加の90億77百万円となりました。

POINT 2

当期純利益 **922**百万円

生産効率向上策や原価低減活動に努めてまいりましたが、下半期以降、液晶パネル用帯電防止膜の受注数量が伸び悩み、新規装置の償却負担増を吸収しきれなかったことなどにより、当期純利益は9億22百万円(前期比5.8%減)となりました。なお、平成26年11月23日に前代表取締役会長松崎隆造氏が逝去いたしましたことによる受取保険金2億10百万円を特別利益に計上しております。

POINT 3

営業活動によるキャッシュ・フロー **2,094**百万円

営業活動の結果得られた資金は20億94百万円(前期比9.4%減)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益9億64百万円、減価償却費11億11百万円及び保険金の受取額4億81百万円があったことなどによるものであります。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第61期	第62期
	H25.4.1~H26.3.31	H26.4.1~H27.3.31
売上高	10,347	11,164
売上原価	7,453	8,495
売上総利益	2,893	2,668
販売費及び一般管理費	1,897	1,974
営業利益	995	693
営業外収益	86	97
営業外費用	63	45
経常利益	1,017	745
特別利益	0	229
税金等調整前当期純利益	1,017	964
法人税、住民税及び事業税	38	41
法人税等調整額	0	0
当期純利益	979	922

POINT
2

POINT
3

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第61期	第62期
	H25.4.1~H26.3.31	H26.4.1~H27.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,311	2,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	△925	△1,107
財務活動によるキャッシュ・フロー	△516	△130
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	70
現金及び現金同等物の増減額	925	927
現金及び現金同等物の期首残高	8,735	9,660
現金及び現金同等物の期末残高	9,660	10,588

連結株主資本等変動計算書

第62期(H26.4.1~H27.3.31)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資本金	資 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
平成26年4月1日残高	4,043	8,297	6,592	△1,311	17,622	138	346	△28	457	18,079
会計方針の変更による累積的影響額			255		255					255
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,043	8,297	6,847	△1,311	17,877	138	346	△28	457	18,334
当期変動額										
剰余金の配当			△237		△237					△237
当期純利益			922		922					922
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						85	248	130	464	464
当期変動額合計	—	—	685	—	685	85	248	130	464	1,150
平成27年3月31日残高	4,043	8,297	7,533	△1,311	18,563	224	595	102	921	19,484

Financial Indicators

財務指標

収益性

総資産経常利益率



売上高経常利益率

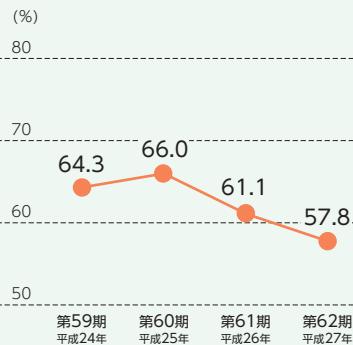


自己資本当期純利益率

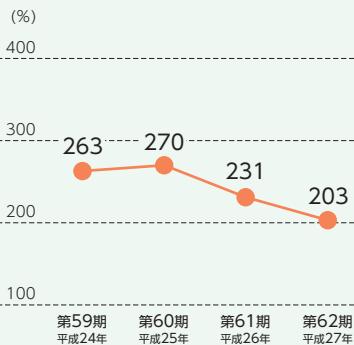


安全性

自己資本比率



流動比率



固定比率



● 総資産経常利益率=経常利益÷総資産(注)

● 売上高経常利益率=経常利益÷売上高

(注)総資産・純資産につきましては期中平均で算出しております。

● 自己資本当期純利益率=当期純利益÷純資産(注)

● 自己資本比率=純資産÷総資産

● 流動比率=流動資産÷流動負債

● 固定比率=固定資産÷純資産

Stock Information

株式の状況 (H27.3.31現在)

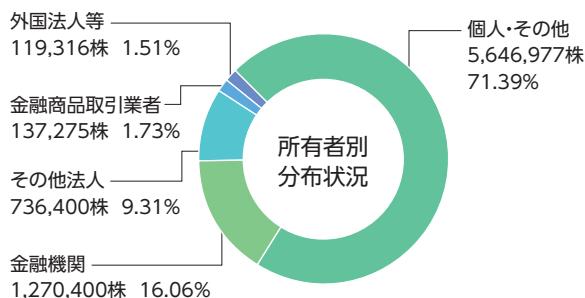
発行可能株式総数 21,600,000 株

発行済株式総数 9,152,400 株

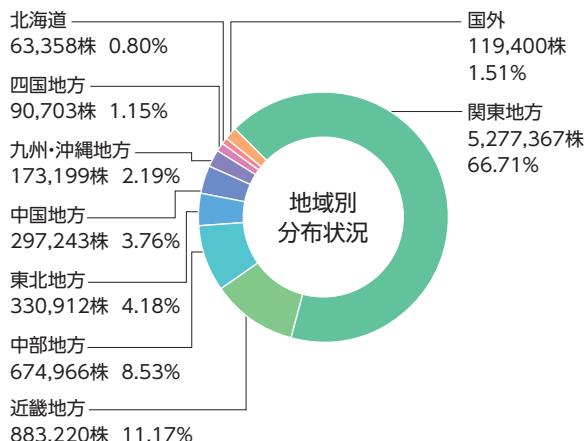
株主総数 5,312 名
(前期末比248名減)

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
松崎隆造	1,053,800	13.32
松崎建太郎	425,000	5.37
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	394,800	4.99
有限会社松崎興産	336,000	4.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	303,800	3.84
ジオマテック従業員持株会	194,480	2.46
明治安田生命保険相互会社	154,000	1.95
個人株主	107,100	1.35
第一生命保険株式会社	105,000	1.33
株式会社アイ・アンド・イー	80,400	1.02



※自己名義株式は除いております。



※自己名義株式は除いております。

※自己名義株式は除いております。

※松崎隆造氏は、平成26年11月23日に逝去されましたが、平成27年3月31日現在相続に伴う名義書換が終了していないため、株主名簿上の名義で記載しております。

Corporate Data

会社概要 (H27.3.31現在)

- 商号 ジオマテック株式会社
GEOMATEC CO., LTD.
- 設立 昭和28年9月
- 資本金 40億4,385万円
- 従業員数 666名(連結) 466名(単体)
- 本社所在地 〒220-8109
横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
TEL. 045-222-5720 FAX. 045-222-5735
E-mail:geomatec@geomatec.co.jp
- 事業内容 フラットパネルディスプレイ用基板(液晶ディスプレイ用基板、EL用基板、タッチパネル用基板)、光学機器用部品、固体レーザー用光学系部品、その他真空成膜製品の製造及び販売他
- 主な販売先 シチズン電子(株)、シャープ(株)、
(株)ジャパンディスプレイ、日東電工(株)
パナソニック液晶ディスプレイ(株)、HOYA(株)
など
(五十音順)

取締役、監査役及び執行役員 (H27.6.26現在)

代表取締役社長	松崎建太郎
取締役常務執行役員	鈴木忠春
取締役執行役員	菅原浩幸
取締役執行役員	河野淳
取締役	澤口学
常勤監査役	高橋幸吉
監査役	寺西尚人
監査役	堀江正機
執行役員	菅原英喜
執行役員	武田明
執行役員	松本作太

ネットワーク

R&Dセンター

〒146-0093 東京都大田区矢口三丁目13番7号

金成第一工場

〒989-5184 宮城県栗原市金成小迫金沼9番地

金成第二工場

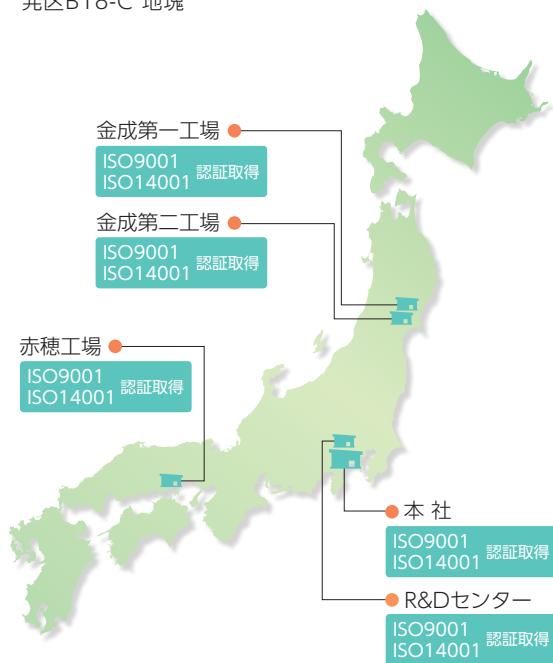
〒989-5164 宮城県栗原市金成金生51番地

赤穂工場

〒678-0165 兵庫県赤穂市木津稻荷山1325番80

吉奥馬科技(無錫)有限公司

中華人民共和國江蘇省無錫市無錫国家高新技術産業開發区B18-C 地塊



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

剰余金の配当基準日 3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)

単元株式数 100株

公告方法 電子公告(<http://www.geomatec.co.jp/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 *トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。



当社ホームページでは、成膜技術に関する情報や加工製品、IR情報などがご覧いただけます。

<http://www.geomatec.co.jp/>

ジオマテック株式会社

GEOMATEC CO., LTD.

本社 〒220-8109 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
TEL.045-222-5720 FAX.045-222-5735



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCOは
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相談)しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。